

第5号

令和4年1月6日発行

自主学習通信



～引き出せ！子どもの力！！～

大阪市教育局事務局
第2教育ブロックグループ

教えて！どうすればいいの、自主学習？



自主学習通信No.2で、自主学習習慣の確立に向けて、先生方が悩まれていることなど質問を募集したところ、以下の質問が寄せられました。

自主学習推進チーム会議メンバーの方々からのアドバイスとともに、自主学習推進会議での協議内容も併せてご紹介いたします。令和2年10月に発行した「自主学習をはじめよう～子どもの力を伸ばす自主学習～」(教員用)に掲載した「Q & A」と合わせて参考にいただき、今後のさらなる自主学習習慣の確立に向けた取組を各校において充実させていければと思います。

Q 1 自主学習を強制してもよいかどうか迷っています。

A 1 「自主≠強制」ではあるものの、導入時には必ずしもこだわる必要はありませんよ。普段の授業と自主学習をリンクさせれば、自主的な学習を進めやすくなりますよ。例えば、「授業中に児童生徒から出された疑問をそれぞれが調べてくる。」「単元の導入につながる内容を家庭で調べさせる。」などは探究的な学習につながります。またテスト勉強、テスト直し、授業の復習なども自主学習にぴったりです。

自主学習の進め方がわからない児童生徒には、課題提出日を設定するのも自主学習習慣の定着に効果的だと思います。急がず細く長く継続していくことが肝要ですよ。



【小学校、中学校、教員それぞれの課題】

○小学校

「机に向かって学習する習慣」を身につけさせることが大切。まずは「宿題」そして興味関心のあることを「自主」的に調べたりまとめたりすることに取り組ませる。自分の資質や能力を磨き、将来につながる第一歩であることを理解させることが大切。

○中学校

「学ぶ楽しさ」に気付かせるために、学習内容を生徒同士でクイズ形式で答えさせるなど、授業に主体的に参加する姿勢を育てるのが大切。

○教員

学年による温度差などを解消するため、教員間で各学年・学級・教科単位での**取組状況を共有し、意見交流や実践報告をする**ことにより、互いの取組の「いいところ」ができるようにする。



これは、「自主学習推進チーム会議」での協議内容でござるな。各校種でめざすべきことや、教員ならではの悩みも話し合われたでござるよ。

そうだね、まなびのすけさん。

会議ではさまざまな意見が出ましたが、共通して言えることは、個々の児童生徒の状況や、学級の取組状況に応じた、様々な工夫・やり方があるってことだったね。

まずは、児童生徒にとって有意義な取組となることを願っています。



Q 2 自主学習の内容にも学力差が表れます。学力の低い児童は何をしいのかかわらず、学力向上へつながらない内容となっています。それでも頑張っている児童はほめることができますが、適当に取り組んでいる児童をどのように指導すればいいですか。

A 2 意欲の低い児童に対し、自主学習の内容を工夫するよう指導する必要はありません。児童の自主学習ノートについて、つい先生方が基準を設定して評価していませんか。「自分が興味を持っているもの」や「自分が苦手とするもの」に気付くことができるよう、たくさんの事例を見せ、模倣からはじめることも効果的です。児童生徒が互いの頑張りを認め合うことは、自己肯定感を高めることにつながります。自主学習に使える辞典や資料集などを教室や図書室に置くなど、自主学習を進めやすい環境整備も大切です。



ちょっと紹介「大宮小学校の学びのしかけ」



学校図書補助員に協力してもらい、図書室前に、教科の学習時期に合わせた掲示物や関連図書を並べています。



SSSに協力してもらい、階段の蹴込板（けこみ板）に都道府県の名産・ことわざ・英単語などを掲示し、自然と目に入るようにしています。

推進チームの先生方からは、「焦らずに、子どもが自主的にやってきたことを、まず『褒める』そして『認める』ということから始めようという声が多かったでござる。



大宮小学校の「学びのしかけ」で紹介しているように、環境を整備するというのも有効ですよ。これまで発行した「自主学習通信」でも、自主学習の取組が継続できるように、各校での好事例の紹介や、掲示・表彰など子どもたちのやる気を喚起する様々な工夫を掲載しているので、ぜひ参考にしてくださいね。



Q 3 自主学習習慣の定着を図るために「内容は何でもOK」としたため、調べ学習を進める児童が多く、探究心は身についてきたと感じます。今後は、授業の予習復習を中心とした学力向上へのシフトチェンジをするべきですか。

A 3 探究心が養われれば、自ずと授業で分からないことや苦手な分野も克服しようとすると思いますよ。もし、予習復習に取り組む児童を増やしたいのであれば、A 2と同じになりますが、好事例（予習復習している自主学習ノート）を掲示したり、児童を褒めたりするのも効果的です。



第2教育ブロックでは、学力向上を図るためのブロック共通の取組として「自主学習習慣の確立」を掲げているのですが、この場合の「学力」とは何を指しているのか、という点について改めて説明させてください。



調べてみたでござるよ。
「主体的に学ぶ力」ってことでござるか。



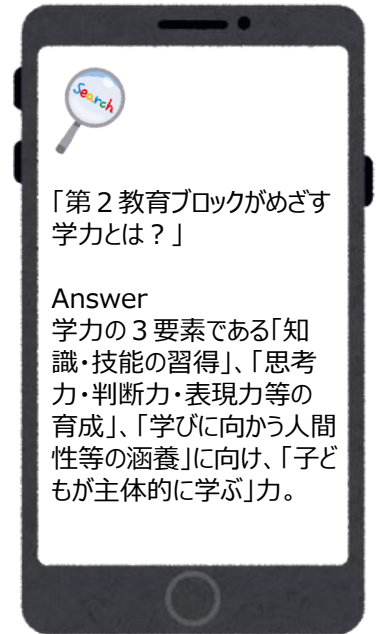
そうだね、まなびのすけさん。
自主学習通信第2号で大畑区担当教育次長も述べておられるように、自主学習（ノート）の目的は、「自主学習習慣の確立のため、自ら主体的に学習する習慣をつけることでどんな環境でも自主学習できる学びのスタイルを早期に確立すること」なんだよ。
その結果として、基礎学力の向上が見られたり、読解力が向上したりすることが、自己肯定感の高まりにつながり、他者との協働的な学びにつながっていくものと考えているよ。



「第2教育ブロックがめざす学力とは？」

Answer

学力の3要素である「知識・技能の習得」、「思考力・判断力・表現力等の育成」、「学びに向かう人間性等の涵養」に向け、「子どもが主体的に学ぶ」力。



でもせっかく取り組ませるのなら、直接、進路や学習評価につながるような、学力向上に少しでも早く結び付けてあげたいんだけどな…。



その気持ち、よくわかりますよ。
自主的に学ぶ姿勢が、より一層の授業理解や、その先にある「深い学び」に結び付くような工夫ができればよいですね。そういう意味でのシフトチェンジを願っています。



自主学習推進チームのメンバーも
「焦らず見守ることが大切」と言ってたでござるよ。



Q 4 中学校で自主学習の導入を丁寧に行いたいと考えています。できれば、総合的な学習の時間を活用し、習熟度別や課題別に分かれて進めていく方法を模索しているのですが、何かよい方法や実例はありますか。現状は、教科単位での取組であり、学級単位での取組はできていません。

A 4 自主学習は、学級単位だけでなく教科単位で進めても大丈夫です。大切なことは、「自ら学びに向かう姿勢の育成」と「互いに認め合う自己肯定感の高まり」であり、自主学習は、自分の勉強したい分野や調べたいことを「自主的に」進めるので、基本的には習熟度別に分けません。しかし、自主学習と教科指導を結び付け、例えば、授業中に「家で自主学習したい人は、ベーシックコースは〇〇、アドバンスコースは△△」などと示すこともできますよ。取組を進めるには、教員間での連携が大切です。



生徒一人ひとりのニーズに沿った形で導入時のオリエンテーションをすることができれば、生徒の自主学習に対する理解や共感がより深まるかもしれませんね。

昨年度（令和2年10月）に配付した「自主学習を始めよう 教員用」冊子に段階別の学習内容の例を挙げているので、参考にするでござるよ。



Q 5 多くの中学生は、家庭学習＝塾となっている。塾に通いながら継続的に行える自主学習にするにはどうしたらよいですか。

A 5 限られた時間で、学校の課題、塾の課題、そして自主学習に取り組むとなると、児童生徒にとってかなりの負担になると思います。宿題の量や質、授業の進め方など、学校や学年全体（中学校では教科間）で宿題（課題）に対する意識改革（量よりも質、教科間での宿題量の調整）も必要ですね。



自主学習推進チームメンバーからは、

- ①自ら学ぼうとすることで計画性が身につく。時間管理ができるようになる。
- ②自分の遊び、習い事、塾などのすきま時間を活用して勉強に取り組めるようになる。
- ③自ら学ぼうとすることで、分からなかった部分が具体的にになり、積極的に発問できるようになる。

といった自主学習の効用を生徒たちにアピールするのはどうか、という意見もありました。こうした「自立性」「自律性」を育むには自主学習は打って付けですね。保護者のみなさんにも、意識を共有したいところですね。

自主学習通信第4号でも紹介したように、懇談の場でノートを見せたり、児童生徒の頑張りを褒めたり、学級通信で発信したりという方法もあるでござるよ。



質問を寄せてくださった先生方、ありがとうございました。

自主学習を進めていくと、さまざまな課題・悩みが出てくるものですね。

今回の回答が、自主学習の取組を進めるうえでの「ヒント」となり、自主学習習慣の確立の一助になれば幸いです。

自主学習推進チームのみなさん、ご回答ありがとうございました。

自主学習を進めるにあたっての質問、悩みは今後も受け付けます。

お気軽にSKIPメールやRisumメール(g07202@city-osaka.ed.jp)にご連絡ください。

送信される際は、以下の点にご留意ください。

○メールの件名は「自主学習についての質問」としてください。

○所属されている学校名、お名前をご記載ください。

どうぞよろしくお願いいたします。

疑問点を共有し、自主学習習慣の
確立・発展を一緒にめざすでござ
るよ。

